

「遊び」は幼児にとって重要な「学び」です

子どもにとってかけがえのない幼児期にもっとも必要なことは夢中になって遊ぶことです。本園は友だちと一緒にのびのびと遊べる環境と時間を十分に確保し、「遊び」とおして「学ぶ」ことを大切に考えています。

心も体も豊かに
生きる力
を持った子ども



感性の育ち

「おもしろい!!ふしぎ!」
心を動かすことで、
表現力・想像力が培われます。

知性の育ち

「これなんだろう?」
新たな発見から探究心や思考力が育ち、
学習への意欲につながっていきます。

協同性の育ち

「おもしろい!」から「一緒にやりたい!」へ。
毎日の友だちとの遊びの中で、
友だちと協力して活動することの
喜びが生まれます。

遊び

～自分で興味あることを
思う存分楽しむこと～

体幹の育ち

たくさん身体を動かすことで、
体全体の発育と姿勢保持といった
体の使い方に関わる体幹も育ちます。

園庭

大粒のどんぐりの実を落とすクヌギの木々をはじめ、自然豊かな園庭では植物や虫たちとのふれあいがいっぱい。丘陵の自然を活用した遊具では健康な身体が育まれています。



一日の流れ

7:30	● 早朝預かり保育
8:30	● 登園・自由に遊ぶ
10:00	● 片付け
	● 朝の集まり(うた・おいのりなど) ● クラス活動(制作など)
12:00	● 昼食(給食週5回)
13:10	● 降園準備
	● 帰りの集まり
14:00	● 降園
～18:30	● 預かり保育

